



ま ち の



軽快な足取りで山頂を目指す参加者（安家平）

一足遅れの春の息吹に笑顔 遠別岳20年目の山開き登山

町の最高峰・遠別岳(1235[㍍])で5月29日、第20回山開きが行われました。

馬淵川源流園地付近にある登山口では、葛巻遠別山岳会(遠藤安信会長)の会員や登山愛好者など約90人が参列し、山の安全を祈願しました。

登山口から遠別岳までは約1時間ほどの距離で、参加者は残雪や途中に咲いている植物などを眺めながら、遅い山の春を満喫しました。

遠別岳までは同山岳会が案内標識を設置しているため、安心です。中間地点(オビラキ)まではほぼ平らで、ハイキング気分が楽しめます。「ブナ林や野草を楽しめるこれからの季節はいいよ」と会員は話していました。

自然保護活動実り全国表彰 ダブル受賞を喜ぶ小屋瀬中

小屋瀬中学校(吉田幸雄校長・生徒43人)は、5月25日に(社)日本河川協会から河川功労者表彰を、6月9日に(社)全国防災協会から災害復旧事業功労者表彰を受賞しました。

いずれも、平成14年の台風被害による土谷川河川改修工事の際、希少種のカワシンジユガイやサクラソウを別の場所に移し、観察や調査を続けてきた環境保護活動が認められたものです。

生徒会長の外村亜友美さんは「1年生の時に移植したものを、自分たちの手で元の場所に返せるのでうれしい。これまでの先輩たちの活動を受け継ぎ、今後も環境保護に取り組んでいきたい」と話していました。

再移植作業は今月、町や工事関係者らとともに行われます。



吉田校長から記念品を伝達される生徒会長の外村さん(左) 円内は、全国防災協会の表彰式に出席した小屋瀬中代表

明るい町づくりに一役 街路灯10基が贈られる



町長室で行われた贈呈式で、中村町長(左)に街路灯の目録を手渡す二社の所長

東北電力(株)盛岡営業所(渡辺泰宏所長)と(株)ユアテック二戸営業所(小山田一則所長)から5月27日、街路灯10基(水銀灯40ワット用、取付工事一式含む)が町に寄贈されました。

ガードレールお色直し 商工会工業部会が奉仕



さびかけたガードレールのペンキ塗り替え作業に精を出す会員(役場庁舎前)

町商工会の工業部会(堀場伸男部会長)は6月12日、会員約20人が参加して町道下町田子線、役場庁舎付近のガードレール約200[㍍]のペンキ塗り替え作業奉仕を行い、通りがパッと明るくなりました。